

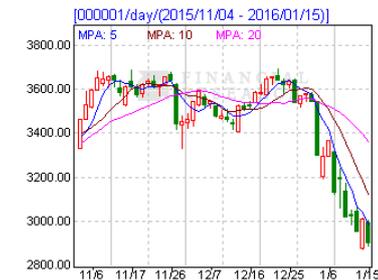


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	15年末株価
NYダウ	15,988.08	-390.97	-2.39	-2.19	-8.25	17,425.03
NASDAQ	4,488.42	-126.59	-2.74	-3.34	-10.36	5,007.41
日経225	17,147.11	-93.84	-0.54	-3.11	-9.91	19,033.71
上海総合	2,900.97	-106.68	-3.55	-8.96	-18.03	3,539.18
滬深300 (CSI300)	3,118.73	-102.84	-3.19	-7.22	-16.41	3,731.01
ハンセン	19,520.77	-296.64	-1.50	-4.56	-10.92	21,914.40
H株	8,236.28	-223.35	-2.64	-6.89	-14.75	9,661.03

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は4.6%安と3週続落、上海総合指数は9.0%安

ハンセン指数は1週間で4.6%安と大幅に3週続落。中国の弱い経済指標を受けてハンセン指数は週初から節目の20000ポイント割れでスタート。その後も不安定な人民元相場や本土株の下落、原油安などが週を通じて重しとなった。上海総合指数も1週間で9.0%安と大幅に3週続落。市場の動揺が続く中、景気の先行き懸念や資金流出への警戒感から売りが継続。上海総合指数は節目の3000ポイントを割り込み、週末にかけて底割れの展開となった。中国当局が目立った株価維持策を打ち出さなかったことも嫌気された。

今週の展望:香港市場は本土市場に左右される展開に、中国の経済指標に注目

香港市場は本土市場の値動きに左右される展開が見込まれる。原油相場下落が続いている上、中国の景気先行き懸念、中国や香港からの資金流出懸念が相場の重しとなっており、投資家のリスク回避姿勢は続く公算。19日に発表される中国の経済指標が予想を下回るようなら、じりじりと下値を切り下げる展開となりそうだ。一方、本土市場は不安定な値動きが見込まれる。景気の先行き懸念が強まれば底割れの展開となる可能性が高いが、中国政府が強力な株価維持策を打ち出してくれば底打ち反転の可能性もある。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 電能実業(00006)	70.10	0.86
2 Link REIT(00823)	44.85	0.56
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

▼値下がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 昆侖能源(00135)	5.46	-14.69
2 華潤置地(01109)	17.70	-11.14
3 レホグループ(00992)	6.45	-9.92
4 中国人寿保険(02628)	20.35	-9.76
5 中国中信(00267)	11.34	-9.42
6 中国旺旺(00151)	4.79	-9.28
7 康師傅控股(00322)	9.10	-9.18
8 恒基兆業地産(00012)	41.75	-8.34
9 中国蒙牛乳業(02319)	10.84	-8.29
10 ワーフ(00004)	37.75	-7.93

▼今週の主なイベント

- 1月18日(月) 【米国】キング牧師生誕記念日で休場
- 【中国】全国70都市不動産価格(12月)
- 1月19日(火) 【中国】GDP成長率(4Q)、小売売上高、鉱工業生産(12月)、固定資産投資(1-12月)

▼今週の期待材料

- ◆中国人民銀行、15日に短期貸出制度(MLF)を通じて1000億元の資金供給を実施
- ◆中国证券监督管理委员会、IPO登録制について「すぐの実施に踏み切ることはない」と重ねて強調
- ◆中国政府による株価維持策への期待が高まる公算、預金準備率引き下げなど追加金融緩和の可能性も

▼今週の懸念材料

- ◆香港ドルの対米ドル相場が14-15日の2日間で0.5%下落、下落率は過去30年で最大に
- ◆19日発表の中国の10-12期GDP成長率、市場予想下回れば景気の先行き懸念が高まる公算
- ◆16日の台湾総統選挙で民進党が圧勝、8年ぶり政権交代で中台関係に悪影響も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ シノペック上海石化(00338): 15年本決算は黒字転換の見通し、原油相場下落が寄与
- ☆ 中国中鉄(00390): 親会社が今後6カ月は株式を売却しない方針を表明
- ☆ 陽光能源(00757): 15年通期の売上高は1.6%増、製品出荷量は13%増加
- ☆ 中国冶金科工(01618): 15年の新規受注額は前年比22%増の4015億8600万元に
- ◇ 世茂房地產(00813): 15年の不動産販売額は5%減、12月単月では1%増を確保
- ◇ 広州汽車集団(02238): 米ウーバー・テクノロジーズに出資へ、総額1億米ドル
- ◇ 中国人寿保険(02628): 15年の保険料収入は10%増、12月単月では9%減少
- ★ CNOOC(00883): 原油相場の下落続く、相場下落が業績に直撃する見通し
- ★ 中国宏橋(01378): 15年本決算は25-35%減益の見通し、為替差損など響く
- ★ 大唐新能源(01798): 15年10-12月の発電量は9.5%減、15年通期では4.1%増加

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。